

定 例 教 育 委 員 会 次 第

令和 8 年 1 月 16 日（金曜日）
14 時 00 分～

1 開 会

2 前回議事録の承認

3 議事（公開）

付議第 38 号議案

佐賀県立特別支援学校の就学区域に関する規則の一部改正（案）について
(特別支援教育室)

4 事務局報告（公開）

(1) 令和 7 年 11 月定例県議会における主な質問事項について

(教育総務課)

(2) 第 36 回 全国産業教育フェア佐賀大会について

(学校教育課)

(3) 第 33 回全国中学校駅伝大会（結果）について

(保健体育課)

(4) 男子 76 回・女子 37 回全国高等学校駅伝競走大会（結果）について

(保健体育課)

(5) 第 105 回全国高等学校ラグビーフットボール大会（結果）について

(保健体育課)

(6) 次回定例教育委員会について

令和 8 年 2 月 5 日（木）10 時 00 分～

(教育総務課)

5 議事（非公開）

付議第 39 号議案

令和 7 年度佐賀県教育委員会表彰の被表彰者について

(教育総務課)

付議第 40 号議案

令和 8 年度佐賀県立学校教職員配当基準（案）について

（教職員課）

付議第 41 号議案

令和 8 年度佐賀県市町立学校県費負担教職員配当基準（案）について

（教職員課）

付議第 42 号議案

いじめの重大事態の調査報告書を踏まえた教育委員会の対応について

（生徒支援室）

付議第 43 号議案

佐賀県立武雄青陵中学校事故調査委員会からの調査報告書（答申）を踏まえた教育委員会の対応について

（生徒支援室）

6 閉会

定 例 教 育 委 員 会 議 事 録 （ 案 ）

- 1 期 日 令和 7 年 12 月 23 日（火曜日）
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 参集者 甲斐教育長、飯盛（清）委員、飯盛（裕）委員、荒木委員、溝上委員、原岡副教育長、江島教育危機管理・広報総括監、横田副教育長、川崎教育総務課長、近藤特別教育支援室長、野口教職員課長、山口学校教育課長、高山生徒支援室長、江口保健体育課長 ほか

4 会議次第 別紙のとおり

5 会議の経過

(1) 開 会 10 時 00 分

(2) 前回議事録の承認

このことについて、甲斐教育長は会議に諮り、委員会は承認した。

(3) 議事

【付第 32 号議案】

令和 8 年度佐賀県立特別支援学校幼稚部、高等部及び専攻科の募集定員について

このことについて、議案書により近藤特別教育支援室長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(近藤特別教育支援室長)

資料 32-1 をご覧いただきたい。令和 8 年度佐賀県立特別支援学校幼稚部、高等部及び専攻科の募集定員についてご説明する。

資料 32-2 及び 32-3 の表が、令和 8 年度の幼稚部、高等部及び専攻科の募集定員を一覧にしたものである。学校別に記載しており、通常の学級、重複障害学級及び訪問教育学級毎に定めた募集定員を右の部分に記載している。募集定員の合計は、資料 32-3 の表下にあるとおり、幼稚部若干人、高等部 399 人、専攻科 8 人としている。

資料 32-4 及び 32-5 の資料をご覧いただきたい。これは、令和 8 年度と令和 7 年度の各学校の募集定員及び志願見込者数を取りまとめたものである。まず、募集定員の設定についてご説明する。高等部及び専攻科の募集定員については、まず、県内の公立中学校と県立特別支援学校を対象に 9 月下旬に実施した進路希望調査の結果及び 11 月に中学校から志願先特別支援学校に提出された「入学志願許可願書」の提出数に基づき「志願見込者数」を決定する。説明資料の中央にある令和 8 年度の欄に、「志願見込者数」を記載している。この「志願見込者」のすべてが志願したとしても入学できるだけの「募集学級数」と「募集定員」を定めていくという考え方である。また、今後、県外からの転入などの特別な事情により、志願者が増える場合にも対応できるよう、

余裕をもって設定することとしている。

次に、令和 7 年度との比較について説明する。令和 8 年度の高等部志願見込者数の合計は資料 32-5 表下の部分にあるとおり、223 人となっている。また、令和 8 年度の募集学級数については 68 学級であり、1 学級の増、募集定員については、399 人であり、23 人の増となっている。なお、高等部の志願見込者数の中には、先の進路希望調査で高等学校を第 1 希望、県立特別支援学校を第 2 希望としている生徒が含まれており、例年、最終的な入学者数は、この志願見込者数の 80% 台で推移しているところである。このため、令和 8 年度の高等部第 1 学年の学級数については、合格者が入学した段階で確定することとなる。盲学校の専攻科についても同様の考え方で設定しており、資料 32-5 の下部の「盲学校専攻科募集定員及び志願見込者数」の表のとおりである。最後に、盲・ろう学校幼稚部の募集定員については表のとおりである。専攻科と幼稚部については、昨年度と変わりはない。以上、承認いただけたら、関係機関に定員について通知する。ご審議のほどお願いしたい。

【主な質問等】

(飯盛(清) 委員)

入学の希望を出したら、入学試験に当たるようなものもなく、入学となるのか。

(近藤特別教育支援室長)

学校によっては面接等を行い入学意志の確認といったことを行うようにしている。

(飯盛(清) 委員)

県立高校の入試を早い時期にすることだったが、特別支援学校関係はそうだったことはしないのか。

(近藤特別教育支援室長)

事前に 9 月や 10 月の意向調査等に基づき、時期を設定しているため、今のところ変更はない。

(飯盛(裕) 委員)

昨年に比べ、23 人増えたということだが、今後も増加傾向になっていくのだろうか。市町の特別支援学級が増えてきているということだったかと思う。特別支援学校の高等部も今後しばらくは増えるということだろうか。

(近藤特別教育支援室長)

年度ごとの推移については令和 6 年度に一旦減少したものの、やはり増加傾向にある。

(飯盛(裕) 委員)

職員配置を手厚くしなければならないと思うので今後大変になっていくのではと思った。

(4) 事務局報告

① 川崎教育総務課長は令和 7 年決算特別委員会（令和 6 年度決算）における主な質問事項について、資料に基づき次のとおり報告した。

(川崎教育総務課長)

資料 1-1 をご覧いただきたい。令和 7 年決算特別委員会における主な質問事項についてご説明する。令和 7 年決算特別委員会は、11 月 5 日から 11 月 17 日までの 13 日間で行われ、教育関係議案は原案どおり認定された。教育委員会関係の質問については、ご覧のとおり 5 項目について 4 名の委員から質疑があった。質疑事項については記載のとおりである。

【主な質問等】

(飯盛(裕)委員)

文教厚生常任委員会の視察で、日新こども園の好生館分園に委員が来られていた。幼児教育の部分での受入れについて説明させていただいた。質問の 4 番については、こういった内容の質問をされたのか。

(近藤特別教育支援室長)

現状での特別支援学校での医療的ケア児の受入れ状況や看護師の配置状況、資質向上等についてご質問があった。

② 野口教職員課長は令和 8 年度佐賀県公立学校教員採用選考試験（秋選考）の結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

(野口教職員課長)

資料 2-1 をご覧いただきたい。令和 8 年度佐賀県公立学校教員採用選考試験（秋選考）の結果についてご説明する。

令和 8 年度佐賀県公立学校教員採用選考試験については、11 月 15 日、16 日の 2 日間の日程で、佐賀東高等学校にて行った。受験申込みが 87 人で、受験者数は 76 人だった。このうち 49 人を合格者として、12 月 5 日に合格発表を行っている。受験状況の詳細については、資料 2-1 の 2 をご覧いただきたい。

今回の選考試験の特徴についてご説明する。今年度初めて実施した「英語スペシャリスト特別選考」では 3 人の受験があり、そのうち 2 人が合格となった。社会人特別選考では、高等学校教諭等で 2 人が合格となっている。多様な人材の確保に向けた取組がある一定の成果を得たものと考えている。

選考の合格者について、資料 2-2 の 3 をご覧いただきたい。合格者のうち、既卒者が 31 人、来年大学卒業予定の新卒者は 18 人で、新卒者が全体の 36.7%であった。選考合格者の平均年齢は 30.2 歳であった。秋選考合格者の 49 人のうち、現住所が佐賀県内である者が 24 人、県外在住者が 25 人であった。秋選考の最終倍率は 1.6 倍で、夏に実施した採用選考試験も含めると 1.9 倍となっている。今回で 4 回目となる秋選考であるが、本県の取組が定着し、一定の成果が得られたものと考えている。

【主な質問等】

(荒木委員)

どこかの県で 6 割が辞退したというニュースがあったが、この合格者の中からの辞退者が出るという話なのか。

(野口教職員課長)

この合格者の中から辞退するケースもある。辞退する方は例年いる。今、把握している中では、夏選考で合格した方が他県でも合格したため辞退したというケースがある。

(飯盛(裕) 委員)

英語スペシャリスト特別選考について、TOEIC だったら何点、などの基準はあるか。

(野口教職員課長)

英語スペシャリスト特別選考の受験要件は、学士以上の学位を取得していること、母国語が英語又は同等の英語力を有して日常的に英語を用いて業務を行っていること、教員の職務を行う上で必要とされる日本語能力を有すること、となっている。

(飯盛(裕) 委員)

結構ハードルが高い気がする。

(野口教職員課長)

国籍は問わず、日本人でも、公用語が英語である国・地域に在住していたなど、英語能力が高ければ受験できる。

(飯盛(裕) 委員)

免許状はどうなるのだろうか。

(野口教職員課長)

特別免許状を交付する。

③ 野口教職員課長は令和 8 年度佐賀県立学校寄宿舎指導員及び実習助手採用選考試験の結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

(野口教職員課長)

資料 3-1 をご覧いただきたい。令和 8 年度佐賀県立学校寄宿舎指導員及び実習助手採用選考試験の結果についてご説明する。

当該選考についても、12 月 5 日に合格発表を行ったものである。採用選考試験は、11 月 15 日に佐賀東高等学校で実施をしている。試験の内容としては、寄宿舎指導員、実習助手ともに一般・教職教養試験、専門試験、面接試験の 3 つを実施している。資料 3-1 の 3 の合格者数に示しているとおり、申込者数は、寄宿舎指導員が 17 人、実習助手が 16 人の計 33 人で、昨年度と比較して 2 人減となっている。受験者数は 32 人であった。

合格者数は、寄宿舎指導員が 2 人、実習助手が、理科家庭で 1 人、工業の機械で 2 人、電気系で 2 人となっている。合格者の年齢を年代別で見ると、50 代が 1 人、40 代が 2 人、30 代が 1 人、20 代が 2 人、10 代が 1 人となっている。定年引上げもあるため、今後の退職者数の推移を考慮しながら計画的に採用していきたいと考えている。今後とも、学校での活躍が期待できる教職員の確保に向けて最善を尽くしていく。

④ 野口教職員課長は令和 7 年度教育行政職員採用試験(高等学校卒業程度・社会人経

験枠)の結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

(野口教職員課長)

資料 4-1 をご覧いただきたい。令和 7 年度教育行政職員採用試験の結果についてご説明する。

11 月 12 日に高等学校卒業程度、11 月 26 日に社会人経験枠の合格発表を行った。その結果についての報告である。高等学校卒業程度について、1 名の採用予定者に対し、5 名が第一次試験の受験をしている。最終合格者は 1 名である。次に、社会人経験枠について、受験上限の年齢が昨年度よりも 1 歳引き上げられ、54 歳までとなっている。3 名の採用予定者数に対し、18 名が第一次試験を受験している。最終合格者は 3 名である。今年度の教育行政職員の採用試験はこれで全て終了となった。民間型選考枠で 5 人、スポーツ特別枠で 1 人、大卒程度で 4 人、障害者対象で 1 人、高卒程度で 1 人、社会人経験枠で 3 人、合計 15 人の合格者を出している。次年度以降も多様な人材確保に努めていく。

【主な質問等】

(飯盛(清)委員)

いわゆる日本版 DBS は合格を出す前に調べるのか。

(野口教職員課長)

日本版 DBS の活用は来年 12 月からである。採用の際に活用することになっているので、合格を出す前に調べることとなる。

(溝上委員)

民間企業からの受験者数が落ちている理由、一般の選考が倍率 1.6 倍という中で民間から受ける人が多い理由を知りたい。

(野口教職員課長)

もう少しアピールの方法などは工夫していければと思う。最終面接に残った方々でいえば、前から佐賀県に来ようと思っていた方、地元が佐賀の方、教育関係や学校に関わる仕事をしていて、学校もいいなと思った方などが受験されている。

⑤ 山口学校教育課長は令和 7 年度の佐賀県高等学校総合文化祭の結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

(山口学校教育課長)

資料 5-1 をご覧いただきたい。令和 7 年度の佐賀県高等学校総合文化祭の結果についてご説明する。

今年度の高等学校総合文化祭については、10 月の定例教育委員会において開会日程等を報告しており、9 月 21 日から 11 月 20 日の間で行われていた。今回は、各専門部の結果についてご報告する。資料 5-2 をご覧いただきたい。16 の専門部の結果を記載している。資料 1 番目の音楽、2 番目の吹奏楽、13 番目の伝統芸能について、審査は行われていない。それから、下から 3 番目の吟詠剣詩舞であるが、これは部員がいないため開催されていない。その他の専門部については、資料のとおりとなっている。

この結果を参考に各部門で選考が行われ、来年度 7 月 26 日から秋田県の秋田市を中心に開催される第 50 回全国高等学校総合文化祭（秋田総文 2026）の出場が決定する。

⑥ 江口保健体育課長は令和 7 年度(男子 62 回・女子 38 回)佐賀県中学校駅伝競技大会（結果）について、資料に基づき次のとおり報告した。

(江口保健体育課長)

資料 6-1 をご覧いただきたい。令和 7 年度(男子 62 回・女子 38 回)佐賀県中学校駅伝競技大会（結果）については資料のとおりとなっている。

11 月 7 日、白石町の福富マイランド公園発着コースにて開催された。大会は男子の部優勝が佐賀県立唐津東中学校（4 大会ぶり 2 回目）、2 位が武雄中学校、3 位が伊万里中学校となっている。

資料 6-2 をご覧いただきたい。女子の部の優勝が多久市立東原彦舎中央校で 4 連覇をしている。2 位は伊万里中学校、3 位は武雄中学校となっている。それぞれ男女の優勝校については、12 月 14 日に滋賀県で開催された全国大会に出場している。

⑦ 江口保健体育課長は第 105 回全国高等学校ラグビーフットボール大会佐賀県大会（結果）について、資料に基づき次のとおり報告した。

(江口保健体育課長)

資料 7-1 をご覧いただきたい。第 105 回全国高等学校ラグビーフットボール大会佐賀県大会（結果）については資料のとおりとなっている。

10 月 25 日、SAGA スタジアムで行われた決勝戦では、佐賀工業高校が早稲田佐賀高校に 61 対 7 で勝利し、44 年連続 54 回目の優勝を果たしている。なお、優勝した佐賀工業高校は、12 月 27 日から開催される第 105 回全国高等学校ラグビーフットボール大会に出場する。

⑧ 江口保健体育課長は第 105 回全国高等学校ラグビーフットボール大会について、資料に基づき次のとおり報告した。

(江口保健体育課長)

資料 8-1 をご覧いただきたい。第 105 回全国高等学校ラグビーフットボール大会の資料となっている。

佐賀工業高校は第 2 回戦 12 月 30 日 9 時半キックオフ、花園第 1 グラウンドにて、大阪第 1 代表の東海大学付属大阪仰星高校と香川県代表坂出第一高校の勝者と対戦することとなっている。

⑨ 川崎教育総務課長は、次回定例教育委員会について、次のとおり報告した。

(川崎教育総務課長)

次回定例教育委員会は、1 月 16 日金曜日 14 時 00 分から開催する予定としている。委員の出席をお願いしたい。

(5) 議事

【付第 33 号議案】

教育委員会事務局職員の人事について

このことについて、議案書により横田副教育長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第 34 号議案】

令和 7 年度県立学校（管理職）異動について

このことについて、議案書により野口教職員課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第 35 号議案】

いじめ問題対策委員会からの調査報告書（答申）を踏まえた教育委員会の対応について

このことについて、議案書により高山生徒支援室長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第 36 号議案】

いじめの重大事態の調査報告書を踏まえた教育委員会の対応について

このことについて、議案書により高山生徒支援室長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第 37 号議案】

佐賀県いじめ問題対策委員会への諮問について

このことについて、議案書により高山生徒支援室長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(6) 事務局報告

① 高山生徒支援室長は県立学校におけるいじめの重大事態の発生について、資料に基づき報告した。

(7) 閉 会 11 時 20 分

令和8年1月定例教育委員会資料

(令和8年1月16日)

議 事 【公 開】

佐賀県教育委員会

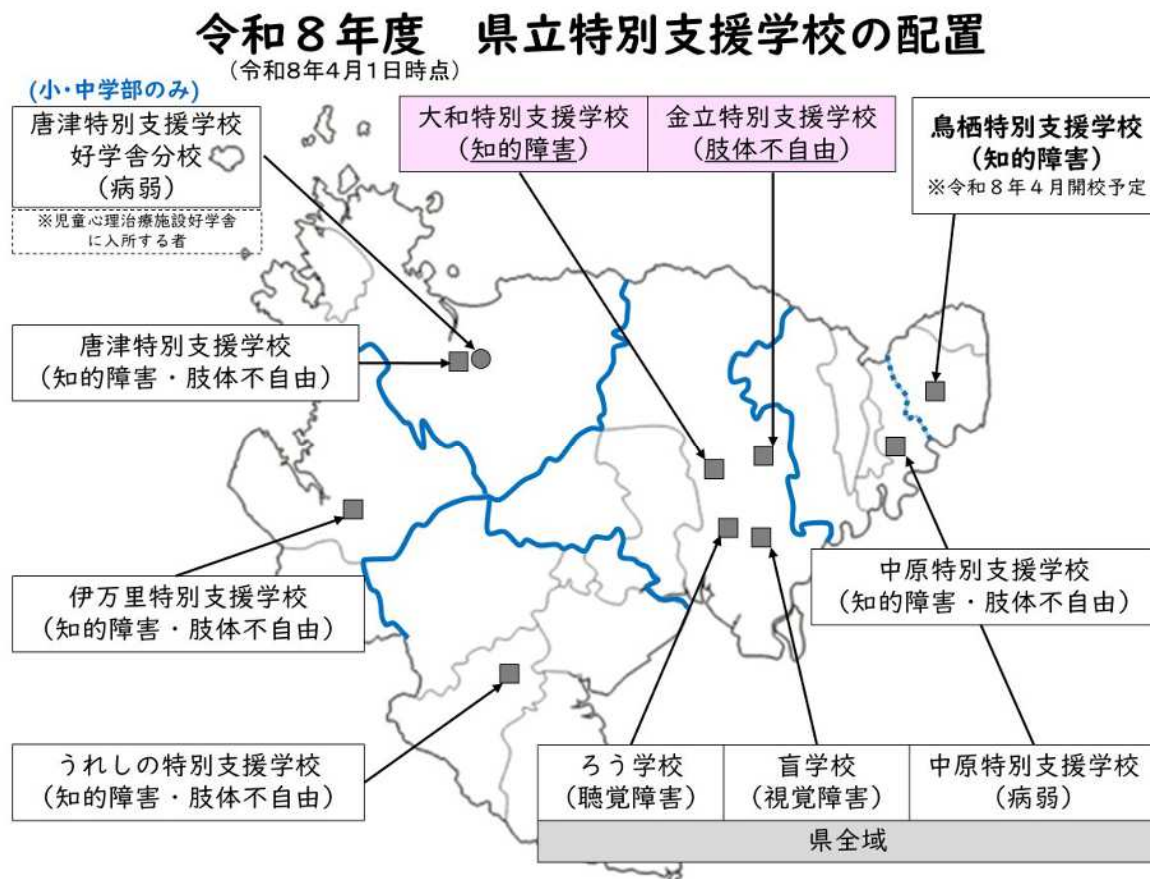
付第 38 号議案

佐賀県立特別支援学校の就学区域に関する規則の一部改正（案）について

このことについて、別紙のとおり制定する。

佐賀県立特別支援学校の就学区域に関する規則の一部改正(案)について

1 現行の規則による就学区域



2 現状と課題及び規則改正の必要性

(1) 現状と課題

- ① 現行の規則において、佐賀市の就学区域については、知的障害は大和特別支援学校と定められている。
- ② 大和特別支援学校については、年々児童生徒数が増加していることから、校舎の増築等を行い対応しているが、引き続き教室不足が課題となっており、大規模化・過密化の解消が必要な状況である。

(2) 規則改正の必要性

佐賀市の一部（金立小・久保泉小・春日小・春日北小の通学区域）の就学区域について、知的障害は金立特別支援学校とすることで、大和特別支援学校の教室不足への対応策の一つとし、大和特別支援学校における課題の改善（大規模化・過密化）を図る。このため、規則の一部改正を行うことが必要である。
(なお、金立特別支援学校の校舎等の整備については順調に進捗している。)

【表】大和特別支援学校の全児童生徒数の推移

(内数：金立小・久保泉小・春日小・春日北小の通学区域に住所がある児童生徒数)

(単位：人)

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
児童生徒数	3 0 4 (4 4)	3 3 4 (5 0)	3 6 5 (5 5)	3 4 6 (4 9)	3 5 2 (5 7)
大規模化・ 過密化対応	R4 普通教室棟増設			R7 仮校舎設置 R6 就学区域変更(神崎市)	

3 佐賀県立特別支援学校の就学区域（現行（令和8年4月1日施行）と改正案）

※佐賀県立特別支援学校の就学区域に関する規則 別表2（第2条関係）【別紙】

4 今後のスケジュール（予定）

期日	内 容
R8年1月	定例教育委員会 付議
R8年2～3月	公布 関係機関への周知（通知）
R8年5月1日	施行

【別紙】

学 校		障害種	部	就 学 区 域	
				現 行	改正後（案）
佐賀県立 金立 特別支援学校		知的障害	小学部 中学部 高等部		佐賀市（金立小学 校、久保泉小学校、 春日小学校及び春 日北小学校の通学 区域に限る。）
		肢体不自由	小学部 中学部 高等部	佐賀市、多久市及 び小城市	
佐賀県立 大和 特別支援学校		知的障害	小学部 中学部 高等部	佐賀市、多久市及 び小城市	佐賀市（金立小学 校、久保泉小学校、 春日小学校及び春 日北小学校の通学 区域を除く。）、多 久市及び小城市
佐賀県立 鳥栖 特別支援学校		知的障害	小学部 中学部 高等部	鳥栖市及び基山町	
佐賀県立 唐津 特別支援学校	本校	知的障害	小学部 中学部 高等部	唐津市及び玄海町	
	好学舎 分校	病弱	小学部 中学部	唐津市（双水 2787 番地 1 に限る。）	
佐賀県立 伊万里 特別支援学校		知的障害	小学部 中学部 高等部	伊万里市及び有田 町	
		肢体不自由	小学部 中学部 高等部		
佐賀県立 うれしの 特別支援学校		知的障害	小学部 中学部 高等部	武雄市、鹿島市、嬉 野市、大町町、江北 町、白石町及び太 良町	
		肢体不自由	小学部 中学部 高等部		
佐賀県立 中原 特別支援学校		知的障害	小学部 中学部 高等部	神崎市、吉野ヶ里 町、上峰町及びみ やき町	
		肢体不自由	小学部 中学部 高等部	鳥栖市、神崎市、吉 野ヶ里町、基山町、 上峰町及びみやき 町	
		病弱	小学部 中学部 高等部	県全域	

佐賀県立特別支援学校の就学区域に関する規則
(平成 21 年 3 月 31 日教育委員会規則第 3 号)

(趣旨)

第 1 条 この規則は、佐賀県立特別支援学校（以下「特別支援学校」という。）の就学区域について必要な事項を定めるものとする。

(就学区域)

第 2 条 特別支援学校（次項に規定するものを除く。附則第 2 項において同じ。）の就学区域は、別表のとおりとする。

2 次に掲げる特別支援学校の就学区域は、県全域とする。

(1) 佐賀県立盲学校

(2) 佐賀県立ろう学校

(就学することができる特別支援学校)

第 3 条 学校教育法施行令（昭和 28 年政令第 340 号）第 14 条第 2 項の規定による学齢児童又は学齢生徒を就学させるべき特別支援学校の指定は、本人の住所の属する就学区域の特別支援学校の小学部又は中学部に行うものとする。ただし、教員を派遣して行う教育（以下「訪問教育」という。）を受けようとする者に係る特別支援学校の指定の取扱いは、佐賀県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が別に定める。

(入学の志願等)

第 4 条 特別支援学校の幼稚部又は高等部に入学（転入学及び編入学を含む。以下同じ。）しようとする者又は在学する者は、本人及びその保護者（親権を行う者又は未成年後見人若しくはこれに準ずる者として教育長が認める者をいう。以下同じ）の住所の属する就学区域の特別支援学校の幼稚部又は高等部に志願し、又は在学しなければならない。ただし、訪問教育を受けようとする者に係る就学区域の取扱いは、教育長が別に定める。

2 特別支援学校の幼稚部又は高等部に入学しようとする者又は在学する者及びその保護者の住所が県内に存しない場合において、やむを得ない事情のあるときは、前項の規定にかかわらず、佐賀県教育委員会の許可を得て、特別支援学校の幼稚部又は高等部に志願し、又は在学することができる。

(就学区域の変更)

第 5 条 特別支援学校に就学し、若しくは入学しようとする者又は在学する者で、やむを得ない事情のあるものは、佐賀県教育委員会の許可を得て、就学区域を変更することができる。

第 6 条 特別支援学校の校長は、この規則に抵触する生徒のあった場合には、本人及びその保護者に対し、速やかに適宜の措置をとるよう勧告しなければならない。

(補則)

第 7 条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 第2条第1項の規定にかかわらず、特別支援学校の就学区域は、この規則の施行の日から平成22年3月31日までの間は表1のとおりとし、平成22年4月1日から平成23年3月31日までの間は表2のとおりとする。

表1 略

表2 略

附 則(令和7年3月28日教委規則第3号)

この規則は、令和8年4月1日から施行する。

別表 (第2条関係)

学 校		障害種別	部	就 学 区 域
佐賀県立金立特別支援学校		肢体不自由	小学部 中学部 高等部	佐賀市、多久市及び小城市
佐賀県立大和特別支援学校		知的障害	小学部 中学部 高等部	佐賀市、多久市及び小城市
佐賀県立鳥栖特別支援学校		知的障害	小学部 中学部 高等部	鳥栖市及び基山町
佐賀県立唐津特別支援学校	本校	知的障害 肢体不自由	小学部 中学部 高等部	唐津市及び玄海町
	好学舎分校	病弱	小学部 中学部	唐津市（双水 2787 番地 1 に限る。）
佐賀県立伊万里特別支援学校		知的障害 肢体不自由	小学部 中学部 高等部	伊万里市及び有田町
佐賀県立うれしの特別支援学校		知的障害 肢体不自由	小学部 中学部 高等部	武雄市、鹿島市、嬉野市、大町町、江北町、白石町及び太良町
佐賀県立中原特別支援学校		知的障害	小学部 中学部 高等部	神崎市、吉野ヶ里町、上峰町及びみやき町
		肢体不自由	小学部 中学部 高等部	鳥栖市、神崎市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町及びみやき町
		病弱	小学部 中学部 高等部	県全域

令和8年1月定例教育委員会資料

(令和8年1月16日)

報告事項

【公 開】

佐賀県教育委員会

令和7年11月定例県議会における主な質問事項について

会期：令和7年11月26日（水） ～ 12月16日（火） 〈21日間〉

【教育委員会関係】

（一般質問）

- 1 学校と地域が連携した人材育成について
- 2 シベリア抑留について
- 3 県立高校の再編整備について
- 4 教育行政について
- 5 新たな佐賀県立高等学校入学者選抜制度について

（文教厚生常任委員会）

- 1 ICT活用教育について
- 2 部活動改革について

（高等教育機関問題対策等特別委員会）

- 1 大学入学者選抜における高校の対応について

令和8年1月定例教育委員会

事務局報告事項 学校教育課

第36回全国産業教育フェア佐賀大会について



第36回全国産業教育フェア佐賀大会

さんフェア SAGA 2026

2026年10月24日(土)25日(日)
in SAGAアリーナ他

**開催まで
あと、282日!**



さんフェア福島2025 (10.25-26)



**競技でも
大活躍!**

ロボット競技大会で**大躍進**
佐賀工業高校
アイデア賞も受賞

介護技術コンテスト
神埼清明高校
奨励賞

フラワーアレンジメントコンテスト
伊万里実業高校
審査員奨励賞



**大会旗の
引き継ぎ!**

広報活動中

2種類のPRポスター製作



県内の駅、商業施設等に掲載が始まります!

公式サイト開設



イベント詳細、スケジュール、
生徒実行委員会活動記録 など掲載中!

SNS等発信中



生徒達主体で
情報発信中!

-御協賛も受付中-

第36回全国産業教育フェア佐賀大会を御支援いただける個人、
企業、大学、各種学校、各種団体等を募集しています!

※詳しくは公式サイトへ



協賛特典もいっぱい!



第33回全国中学校駅伝大会（結果）について

- 期 日 令和7年12月14日（日）
- 会 場 男子：滋賀県希望が丘文化公園 スポーツゾーン芝生ランド
女子：滋賀県希望が丘文化公園 スポーツゾーン芝生ランド
- 出 場 校 男子 佐賀県立唐津東中学校 （4年ぶり2回目出場）
女子 多久市立東原彦舎中央校（4年連続5回目出場）
- 結 果 男子 佐賀県立唐津東中学校 41位（1時間01分46秒）
女子 多久市立東原彦舎中央校 29位（45分31秒）
R6 14位（43分59秒）

<男 子>

区間	距離(km)	選手氏名（学年）	区 間 記 録		累 計 記 録	
			順位	記 録	順位	記 録
1区	3	村上 孔祥（3）	41	9分58秒	41	9分58秒
2区	3	佐伯 悠晴（3）	43	10分10秒	44	20分08秒
3区	3	清水 皇至（3）	47	10分31秒	44	30分39秒
4区	3	米倉 孔志（3）	38	10分25秒	44	41分04秒
5区	3	古賀虎之助（3）	38	10分39秒	43	51分43秒
6区	3	鍵山 東児（3）	20	10分03秒	41	1時間01分46秒

<女 子>

区間	距離(km)	選手氏名（学年）	区 間 記 録		累 計 記 録	
			順位	記 録	順位	記 録
1区	3	岸川 わこ（1）	35	11分17秒	35	11分17秒
2区	2	八島ほのか（3）	34	7分37秒	34	18分54秒
3区	2	藤田 柚乃（3）	35	7分46秒	36	26分40秒
4区	2	梶原 花菜（2）	30	7分48秒	34	34分28秒
5区	3	中山侑衣菜（3）	16	11分03秒	29	45分31秒

男子76回、女子37回全国高等学校駅伝競走大会（結果）について

- 期 日 令和7年12月21日（日）
- 会 場 男子：たけびしスタジアム京都付設駅伝コース（男子全国高校駅伝コース）
女子：たけびしスタジアム京都付設駅伝コース（女子全国高校駅伝コース）
- 出 場 校 男子 佐賀県立鳥栖工業高等学校（16年連続50回目出場）
女子 佐賀清和高等学校（2年ぶり8回目出場）
- 結 果 男子 佐賀県立鳥栖工業高等学校 9位（2時間03分38秒）
女子 佐賀清和高等学校 42位（1時間12分49秒）

<男 子>

区間	距離(km)	選手氏名（学年）	区 間 記 録		累 計 記 録	
			順位	記 録	順位	記 録
1区	10	今村 仁（3）	10	29分28秒	10	29分28秒
2区	3	高橋 功平（3）	10	8分18秒	9	37分46秒
3区	8.1075	下森 実直（3）	36	24分47秒	17	1時間02分33秒
4区	8.0875	川副 剛煌（3）	5	23分15秒	9	1時間25分48秒
5区	3	重藤 開（3）	8	8分43秒	8	1時間34分31秒
6区	5	増永 颯人（3）	14	14分46秒	11	1時間49分17秒
7区	5	辻 竜乃介（2）	5	14分21秒	9	2時間03分38秒

<女 子>

区間	距離(km)	選手氏名（学年）	区 間 記 録		累 計 記 録	
			順位	記 録	順位	記 録
1区	6	古賀結衣花（3）	51	21分26秒	51	21分26秒
2区	4.0975	宇野 史栞（2）	40	14分02秒	48	35分28秒
3区	3	吉武美乃里（3）	42	10分26秒	47	45分54秒
4区	3	峯 桜子（3）	31	10分02秒	47	55分56秒
5区	5	内野 彩愛（3）	29	16分53秒	42	1時間12分49秒

第 105 回全国高等学校ラグビーフットボール大会（結果）について

- 期 間 令和 7 年 1 2 月 2 7 日（土）～令和 8 年 1 月 7 日（水）
- 会 場 東大阪市花園ラグビー場
- 参 加 校 5 6 校
- 出 場 校 佐賀工業高等学校（4 4 年連続 5 4 回目の出場）
- 成 績 2 回戦 1 2 月 3 0 日（火） 対 東海大学付属大阪仰星高校（大阪） 6－7

近年の成績

年度	回	成績
平成 9 年度	第 7 7 回	ベスト 8
平成 1 0 年度	第 7 8 回	ベスト 8
平成 1 1 年度	第 7 9 回	3 位
平成 1 2 年度	第 8 0 回	2 位
平成 1 3 年度	第 8 1 回	ベスト 8
平成 1 4 年度	第 8 2 回	ベスト 8
平成 1 5 年度	第 8 3 回	ベスト 8
平成 1 6 年度	第 8 4 回	ベスト 8
平成 1 7 年度	第 8 5 回	ベスト 1 6
平成 1 8 年度	第 8 6 回	2 回戦敗退
平成 1 9 年度	第 8 7 回	ベスト 8
平成 2 0 年度	第 8 8 回	ベスト 8
平成 2 1 年度	第 8 9 回	ベスト 1 6
平成 2 2 年度	第 9 0 回	2 回戦敗退

年度	回	成績
平成 2 3 年度	第 9 1 回	ベスト 8
平成 2 4 年度	第 9 2 回	ベスト 1 6
平成 2 5 年度	第 9 3 回	ベスト 1 6
平成 2 6 年度	第 9 4 回	ベスト 1 6
平成 2 7 年度	第 9 5 回	ベスト 1 6
平成 2 8 年度	第 9 6 回	2 回戦敗退
平成 2 9 年度	第 9 7 回	ベスト 1 6
平成 3 0 年度	第 9 8 回	2 回戦敗退
令和元年度	第 9 9 回	ベスト 1 6
令和 2 年度	第 1 0 0 回	2 回戦敗退
令和 3 年度	第 1 0 1 回	ベスト 8
令和 4 年度	第 1 0 2 回	ベスト 8
令和 5 年度	第 1 0 3 回	3 位
令和 6 年度	第 1 0 4 回	2 回戦敗退

